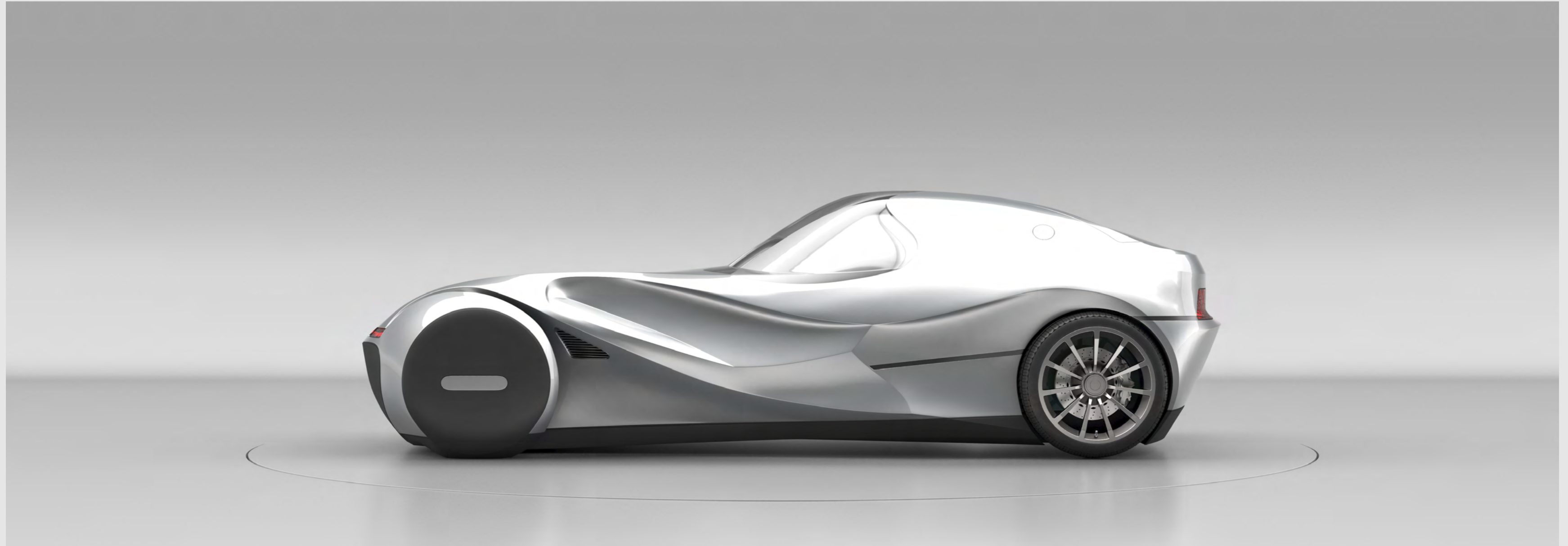


BASF自動車用OEM塗料 カラーレポート2019

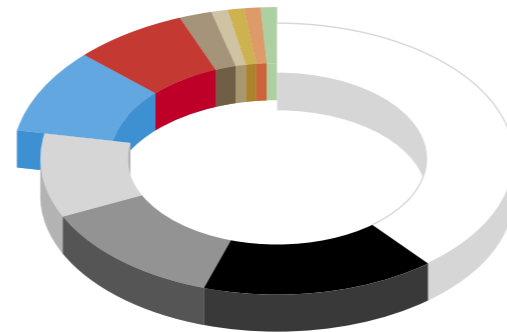


やや低下するホワイトの人気

グローバル

概要

○ ホワイト	39%	● ブルー	9%	● ゴールド	1%
● ブラック	16%	● レッド	7%	● オレンジ	1%
● グレー	13%	● ブラウン	2%	● グリーン	1%
● シルバー	10%	● ベージュ	1%		



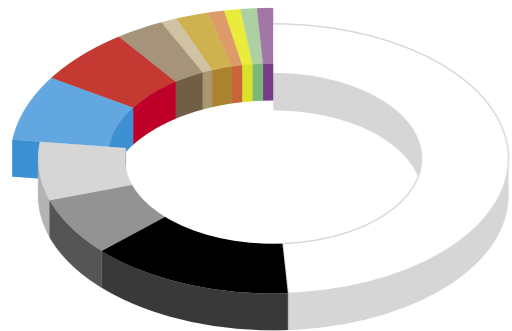
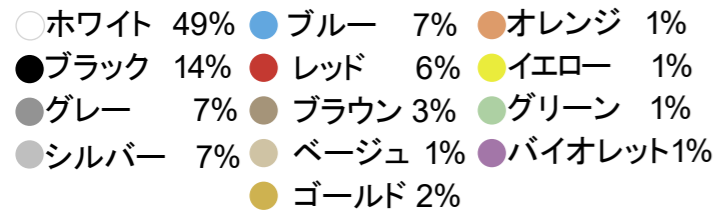
2019年世界の人気色における、有彩色と無彩色の比率は、前年と比較して大きな変化がないことを示しており、無彩色（ホワイト、ブラック、シルバー、グレー）が市場の78%を占めています。一方で、無彩色にはやや変化が起きています。ホワイトは依然として、39%のシェアを持つ一番人気の色ですが、今年は少しシェアを下げました。ブラックとグレーは安定感があり、シルバーの人気はやや上昇しました。

有彩色を分析すると、ブルーが増加していることがわかり、そのシェアは9%に達しシルバーにほぼ追いついています。レッド、ブラウン、グリーン、オレンジなど、その他の有彩色の割合は、2018年とほぼ同じです。

地域により異なる人気色

アジア 太平洋

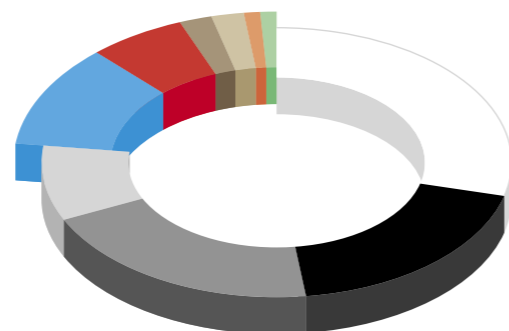
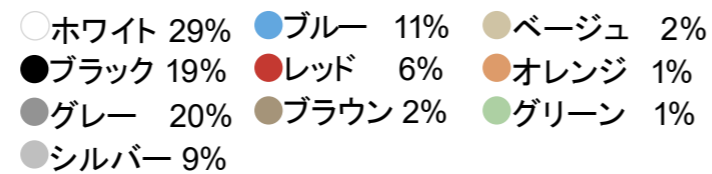
概要



全体的なカラーの比率は変化せず、77%が無彩色です。ホワイトが49%と、依然として最も人気があります。有彩色では、ブルーが一番人気で、近年首位であったレッドに代わり、2019年には7%のシェアを獲得しました。

EMEA

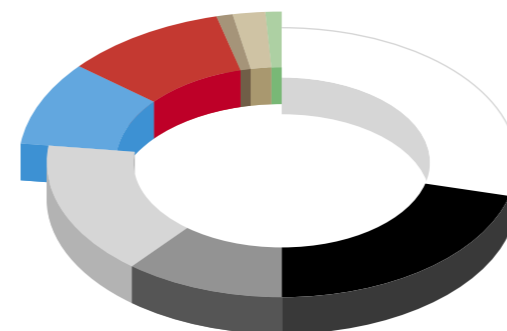
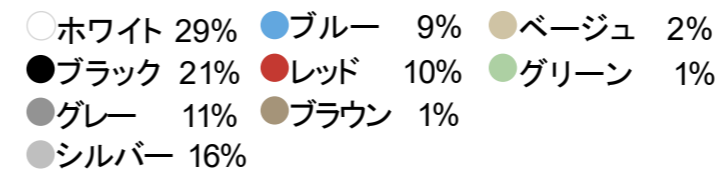
概要



ホワイトは今年もシェアを失い下降を続けていますが、依然として最も好まれる色となっています。ブルーとグレーは引き続きシェアを拡大しており、カラーバリエーションも豊富なことが特徴です。2019年の勝者はベージュで、初の大躍進を遂げました。

北米

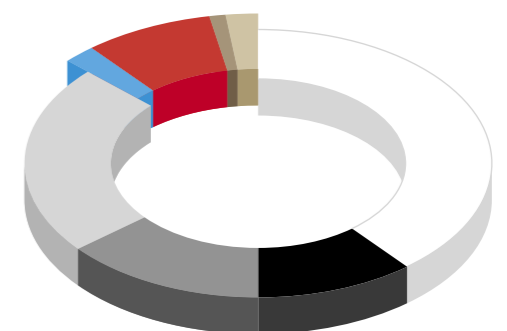
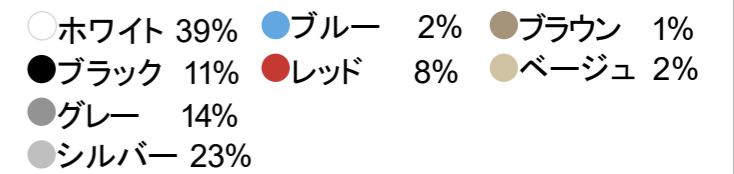
概要



ドライバーは、より高度な技術を搭載した新型車にあわせて、はっきりとした清らかなホワイトを選んでいきます。無彩色が市場を占有しており、ほとんどの車はホワイト、ブラック、シルバー、グレーとなっています。無彩色ではない車は、今年、ブルーのシェアを上回ったレッドである可能性が高くなります。

南米

概要



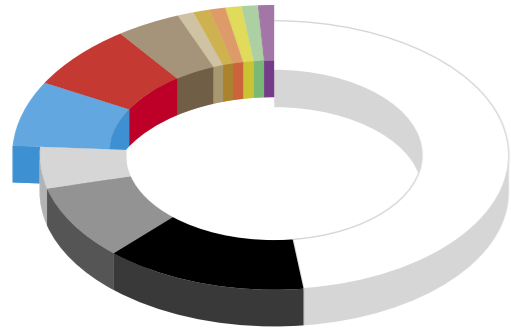
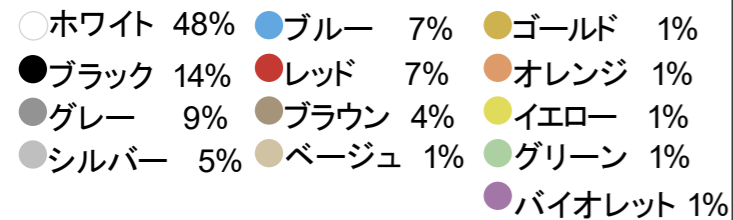
南米市場はホワイトやシルバーなどの明るい無彩色を好んでいます。南米でのレッドのシェアは、アジア太平洋地域やEMEA地域よりも高く、ドライバーは鮮やかな色と個性への情熱をレッドを選ぶことで表現しています。

SUV人気は続く – ホワイトのインパクト低下

アジア
太平洋



SUV

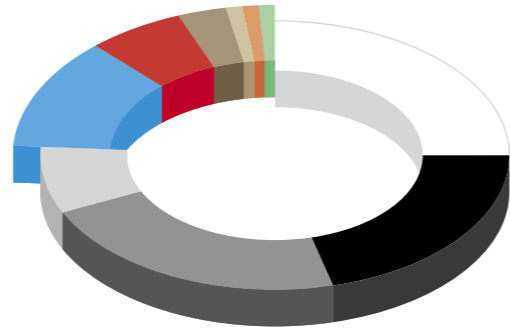
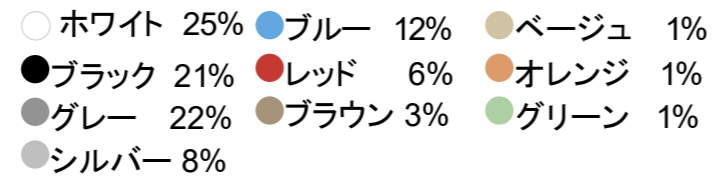


ホワイトが48%と首位で、14%のブラックが続きアジア太平洋地域全体の傾向と一致しています。グレーは、SUVで人気があり、アーバンSUVでさまざまなエフェクトのグレーが注目を集めています。ブルーとレッドのシェアは7%です。ブルーは高彩度と、明るいクリーントーンが増えています。

EMEA



SUV

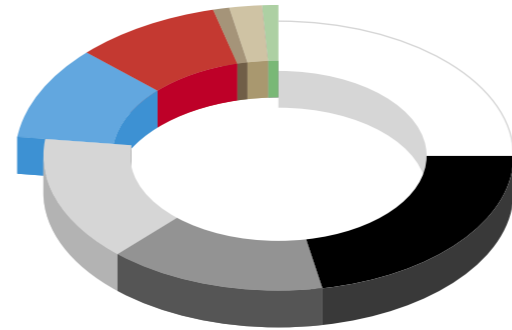
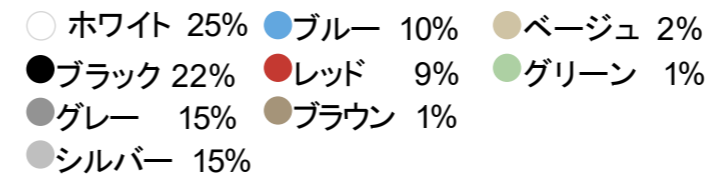


SUVには、アーバンミニSUVから大型の高級SUVまで、多種多様なモデルがあります。この多様性と継続的な人気により、SUVは最大の自動車セグメントとなっています。グレーは、他のセグメントと比べても特に人気が高くなっています。ブルーがシェアを伸ばす一方で、ホワイトは減少を続けています。有彩色は小型SUVで好まれています。大型モデルでは暗い色調で塗装される傾向があります。

北米



SUV

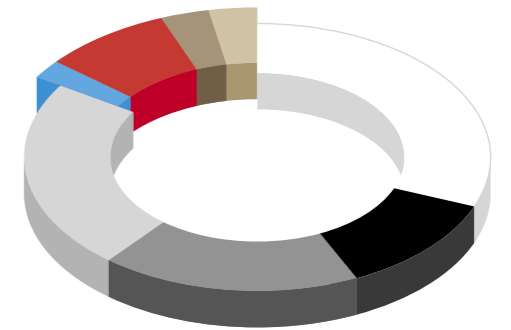
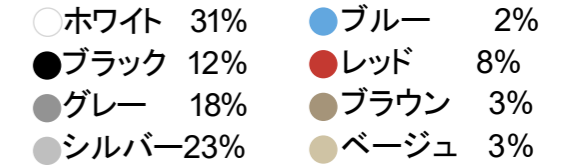


多くの北米自動車メーカーがセダン市場から撤退する中、クロスオーバー(CUV)とSUV、そしてその高級車が市場を占有しています。北米のCUV/SUVの約77%が、ホワイト、ブラック、シルバー、グレーの無彩色となっており、特に大型SUVに当てはまります。レッド、ブルー、ブラウンなどの鮮やかな有彩色は、小型CUVには適していますが、大型SUVでは、すべてに映えるわけではありません。

南米



SUV



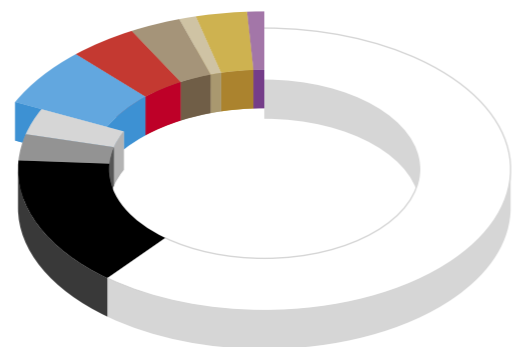
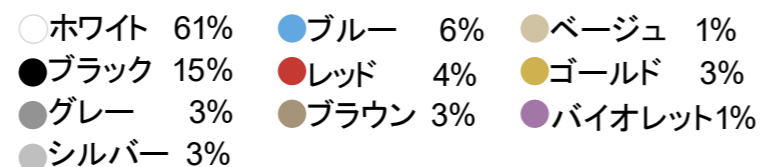
南米ではSUVの生産が増加しています。ホワイトは31%とリードしていますが、自動車市場全体と比較するとシェアは低くなっています。ホワイトに続いてSUVで最も人気の高い色は、シルバーの23%、グレーの18%で、合わせるとホワイトを上回ります。ブラックの12%、レッド8%のレッドも好まれています。ブラウンとベージュを合わせるとが市場の6%を占め、ブルーを上回っています。

色や色合いの多様性

アジア太平洋地域の主要3カ国の中国、インド、日本を分析すると、3カ国ともホワイトの割合が高いことが類似しています。一方で、有彩色は各国独自の特徴を示しています。

中国

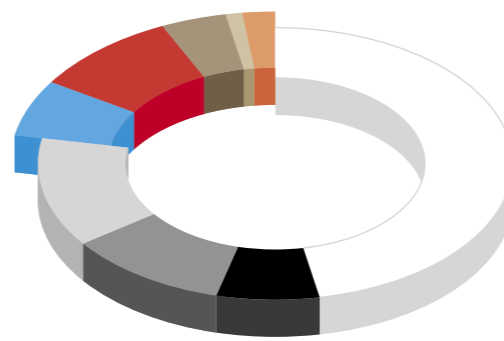
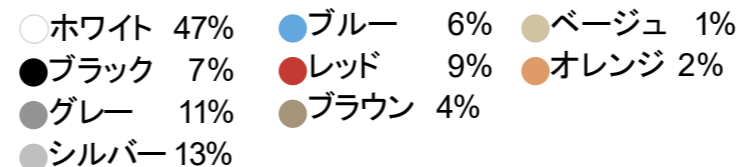
概要



無彩色のシェアは82%で安定しており、3カ国の中で最も高くなっています。ホワイトの61%という圧倒的なシェアも安定しています。有彩色では、ブルーがレッドを抜いて6%となりました。特に最も人気の高いセグメントであるSUVも同様です。

インド

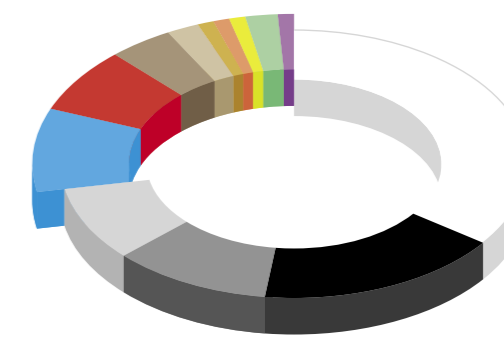
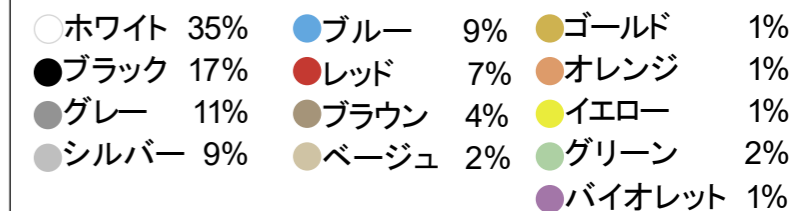
概要



ホワイトは日光の熱を反射するので、人気安定しています。ホワイトが市場の47%を占め、シルバーが13%、グレーが11%と続きます。レッドは有彩色でも多く、9%です。この結果は、インドで最も台数が多く、主に自家用であるBセグメント車の傾向が反映されています。

日本

概要



日本は3カ国の中で最もカラフルな傾向を示しています。ブルーが9%と高く、レッドが7%、その他多くの色合いがそれに続きます。グリーンと彩度の高いイエローが新鮮で個性的な色として注目されています。有彩色には、さまざまな色合いとトーンが存在しています。ブラック向けの様々なエフェクト表現が可能になったため、ブラックは増加しています。

トレンドを把握する力と 革新的なカラーコンセプト

BASFのコーティングス事業本部は、素材や色のトレンドを非常によく理解しており、この知見を将来の自動車市場で重要な役割を果たす色を予測するために活用しています。コーティングス事業本部のデザイナーは毎年、自動車の色に影響を与える世界的なトレンドと文化の変化についての広範な調査と詳細な分析に基づいた、新色を含む「自動車のカラートレンド予測」を発表しています。また、カラーラボの経験豊富な専門家とともに、革新的で創造的な色をデザインする技術、それらを適切な塗料に変換するのに必要な知識を有しています。

Contact



Communication North America

Alan Baker
alan.baker@basf.com

Communication EMEA

Joerg Zumkley
joerg.zumkley@basf.com

Communication South America

Daniela Santucci Martins
daniela.santucci@basf.com

Communication Asia Pacific

Tanya Tian
tanya.tian@basf.com